

放課後等デイサービス「キッズすてっぷわかば」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和4年12月12日

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	活動のエリア分けを行い、スペースを最大限活用し対応していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	基準を満たす配置を行っている。
	3 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	バリアフリーだけでなく安全に過ごせる環境の整備の為、日頃より見直し意見交換をスタッフ間で行い必要な場合は本部にも相談し改善していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	それぞれの意見をまとめてスタッフ全員が同じ目標を持ち業務改善に努めている。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様に頂いた意見を共有し、利用児さんに対してより充実した支援が行えるように努めている。
	6 この自己評価結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	保護者様向け及び自己評価の集計結果をホームページでの公表と事業所内への掲示を行っている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	機会があれば評価を受け業務改善につなげていきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	外部講師による研修や、社内にて実施する研修へ参加し、療育の資質向上に努めている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	スタッフ全員が目を通し、客観的に分析し、課題を整理したうえで計画に反映させている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	保護者様や、相談支援員様からの聞き取りを十分に行い、発達センターからの診療情報提供書等を参考にし支援に繋げている。

適切な支援提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	スタッフ全員でミーティングをし、立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	新しい活動や支援を取り入れ、利用児様の目標達成、成功体験となる様、プログラムを考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	利用時間の違いに応じて課題や活動の設定を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	個別活動や集団活動の組み合わせが適切かスタッフ間で見直し作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に、確認事項や情報共有し、支援中の役割や安全の確保に努めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	振り返りでその日の利用児さんの状況やスタッフの対応の見直しを行い共有することで次の支援へ繋げている。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	会議等で支援の見直しを行い、スタッフ間で検証、改善に努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	半年ごとのモニタリング及び個別支援計画の立案を行い、更新時期以外にも必要に応じて担当者会議等を要請し計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	ガイドラインの見直しを行い、普段の支援で組み合わせ実践できているか確認を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達支援管理責任者と担当者が参画している。

関係機関や保護者との連携

21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校行事や下校時刻の変更等、細目に確認を行い、情報共有に努めている。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在医療的ケアが必要な利用児様はいらっしゃいません。必要の際は、関係機関と情報共有を図り、体制を整えています。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	利用児様の情報共有と相互理解が行えるよう、連絡できる環境を整えている。
24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在該当される利用者様はいないが、学校の卒業等で違うサービスや環境に進まれる場合は情報を提供し、対象となる方が安心して次へステップアップできるよう支援させていただきたい。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けいるか	お電話で助言を頂いたり、サービス担当者会議等に出席して頂き、アドバイスを頂いている。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	コロナ禍が収束した後には交流の機会の提案を検討したい。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	必要に応じ、参加を行っている。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳や送迎時の対面時を通して日頃の状況を伝えあい、共通理解に努めている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	保護者様からの相談に対しては適したスタッフが迅速に行っている。ペアレントトレーニングも取り入れられる体制を整えたい。
30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約や受給者証の更新時での変更があった場合には説明を行っている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者様からの相談には適切なスタッフが迅速丁寧に対応を行い、スタッフ間の情報共有も行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在コロナ禍により実施出来ていませんが、今後必要な場合は検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情があった際には、対応する体制を整え丁寧に説明を行うよう心掛け、迅速そして適切な対応に努めていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	定期的な会報の発行と、保護者様専用のブログサイトにて情報発信を行っている。
	35	個人情報に十分配慮しているか	誓約を厳守し、個人情報の取り扱いには今後も十分に注意、配慮を行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	障害の特性に応じた意思の疎通や情報伝達に努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所のことを地域に広く知っていただくため、そして地域交流のためにもコロナ収束後に検討したい。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	法人に設置された委員会の情報と研修を元にマニュアルを設置し、年間計画に沿って訓練を実施していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	法人に設置された委員会での研修や情報を元にマニュアルを作成し、年間計画に沿って訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	法人に設置された委員会での研修や情報を元にマニュアルを作成し、年間計画に沿って訓練を実施している。

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	身体拘束等適正化委員会を元に、組織的な決定の元、保護者様への説明と同意を求めている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アセスメント時にアレルギーや出た時の対応を確認するとともに必要に応じ医師の指示書の提出をお願いしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	日々の支援でヒヤリハットとして残す事例を検討しており、今後も継続して作成し職員間にて情報を共有し、改善に務めている。